

全日本ロードレース選手権フルエントリー

岡村光矩

猪突猛進中!!



岡村光矩（おがむらみつのり）選手は1988年9月15日生まれで福岡県在住の23歳。
昨年より全日本ロードレース選手権にRSGレーシング&ドリーム北九州より
フルエントリーしているのだが、レースを始めて何とまだ5年目なのだ！

Photo: サーキットのロバ&with BIKE

1: RSGレーシング&ドリーム北九州の面々2, 3: バックでは終始笑顔。レース前でも遠慮なく声を掛けて欲しいとの事。4: 全国を二週にわたって立派なトラックで5: 2011年決勝後、後方からレースを走る岡村選手。こんな時でも笑顔! 岡村選手はOGKヘルメットのテストライダーという肩書きを持ち、レースで気配った点を製品にフィードバックさせている。F・S・V岡村モデルが発売される日も近い!



岡村選手は中学生の頃より海が好きで、近所のダイビングショップに出入りし大先輩達に可愛がってもらっていた。好きが高じて高校も水産高校へ進み、将来の夢は「潜水士」になる事であった。高校時代に二輪免許を取得しホーネットと仲間とツーリングへ行ったり峠を走りまわったりしていたという。ショップ主催のSPA直入走行会を走る機会があったが、その時点では「ただのバイク好き」だったのである。高校卒業後、東京でプロの潜水士としてキャリアをスタートさせた。しかしその会社を一年で退職し次なる目標の為に福岡へ帰ってきた。それは「消防士」になる事。消防士とはいえ地域によっては潜水の仕事もあるのだ。その為に公務員専門学校に入学するのだが、その頃にSPA直入のコースライセンスを取得し、東京で既に購入していたCBR600RRの一般市販車で走り出す。そして早速2008年の春に開催されたSPA直入スーパーサンデーフェスタでレース初出場。勝利を収めるのである。これで選手権を目指すのかと思いきや、本人は「やった」という程度。やはりバイクは二の次で消防士を目指すのであるが、幸か不幸か公務員試験の直前にモトクロスで転倒しケガをしてしまったのだ。これを機に「こうなってしまうからにはバイクレースで上を目指してみようじゃないか」と気持ちが変わるのだが、それでも「2年間限定」と決めていた。2年で結果が残せなかったらキツパリ辞める!

こうしてレースへの参戦を開始するのである。その時、早い時期に声を掛けてくれた福岡のRSGレーシングにお世話になる事を決めた。その年は九州ロード選手権最終戦HSR九州ラウンドに出場する為にそれから熊本HRR九州通いが始まる。そして迎えた最終戦。その年は大楽也選手が大活躍しており、最終戦で勝利すれば九州ロードとサウスイリアのWチャンピオンが決まるレースであった。このレースが岡村選手の選手権デビューであるが、大健闘し大楽也選手に続く2位表彰台を獲得するのである。岡村選手はそのレースを振り返り「いや、悔しかったですね(笑)。だって見る見る離れて行くんじゃもん。2位でフィニッシュ出来たのですが清々しさはなくて、いつか絶対勝つてやるって思いました。でもそれ以来、大楽選手と同じくクラスで戦う機会が無いんですけどね(笑)。しかし、あの背中のかっこよかったなあ」と、非常に簡単に書いているが、当然エントリーは2, 3台の訳は無く、レース経験のほとんどないライダーがあっさり表彰台に立てる様な低いレベルではない。当然マシンも他の人と同様なものである。九州ロードレース界で「凄いやつ」が出たのだ!との噂が飛び交ったのだ。

この年は選手権の他に、三重県鈴鹿サーキットで行われた鈴鹿100kmロードレースで7位、鈴鹿4時間耐久レースで7位、NGK杯で1位を獲得し、強豪揃う鈴鹿でも名を売るのであった。自分で決めた2年の期限内に全日本に行くチャンスを作れた事で、期限を更に2年伸ばす事にした。

2010年からは全日本ロードレースに参戦を止めて、5月の文部科学大臣杯MFJ全日本ロードレース選手権第3戦大分オートボリスラウンドに出場する。この予選で並み居るトップライダー達に混じり何と5位に入るのである!しかし豪雨の為に決勝レースは中止となってしまったのだ。岡村の決勝が見たい!と突如現れた「ユービーロー」に全日本ロードレースファン達が熱狂し多くの岡村ファンを獲得する事になる。MotopodというUSTREAMの全日本ロードレース専門チャンネルもその時から熱心に応援してくれている。

そして2011年、念願の全日本フルエントリーを果たす。全戦とは大分県オートボリス、栃木県ツインリンクもてぎ、宮城県スポーツランドSUGO、岡山県国際サーキット、三重県鈴鹿サーキットである。全戦戦うには当然高額の費用が掛かってくる。しかし2010年にスポット参戦の自分にとってドライバーである関口太郎選手が「勉強したいなら全戦出るべき」とアドバイスをくれた。その言葉を胸に、何とんでも結果を残す事にした。

2010年からは全日本ロードレースに参戦を止めて、5月の文部科学大臣杯MFJ全日本ロードレース選手権第3戦大分オートボリスラウンドに出場する。この予選で並み居るトップライダー達に混じり何と5位に入るのである!しかし豪雨の為に決勝レースは中止となってしまったのだ。岡村の決勝が見たい!と突如現れた「ユービーロー」に全日本ロードレースファン達が熱狂し多くの岡村ファンを獲得する事になる。MotopodというUSTREAMの全日本ロードレース専門チャンネルもその時から熱心に応援してくれている。

そして今年、正念場となるシーズンだ。正直金銭的な余裕は全く無い。しかし意地でも全戦戦い良い結果を残す!それはこの生き方を応援してくれる家族の為でもあるのだ。残りの全日本レースは3戦。そして地元オートボリスで開催されるアジア最大のレース「アジア選手権」にも出場出来る様に調整中だ。

岡村選手の夢は「全日本で活躍し、世界のトップレースに出る事」だ。そして「是非サーキットに応援に来てくださーい!僕はレース前でもナビパスにはならないので気軽にドンドン話しかけてくれれば、もっと頑張れます!」と、現れた九州のキラ星「岡村光矩」を応援して頂きたい!